

# 依存症治療を考える

WEB研修

主催：山口県、山口県依存症治療拠点機関

＜高嶺病院・山口県立こころの医療センター＞

近年、芸能人の飲酒運転、薬物使用・所持による相次ぐ逮捕、カジノ法案成立によるギャンブル依存症者増加の懸念、コロナ禍での家飲み増加によるアルコール使用問題等、社会の依存症への関心が高まっている。

人は何故アルコールに溺れ、法を犯してまで薬物に手を出し、借金を重ねてはギャンブルに没頭するのか？

「依存症とは？どんな人になりやすいのか？

治療に求められるものとは一体何なのか？」

依存症治療のパイオニアである松本俊彦先生を

お招きし、依存症について共に考えていく。



日時：令和3年2月28日（日）

13:00～16:30（12:30～受付開始）

※新型コロナウイルス感染予防のため、本研修会はライブ配信で行います。Zoomを活用しますので、通信環境を整えておいてください。

## タイムスケジュール

13:00 開会、挨拶（山口県健康福祉部健康増進課）

13:05 「人はなぜ依存症になるのか  
～回復のために必要なもの～」

講師：松本 俊彦 氏

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター  
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長  
病院 薬物依存症センター センター長

座長：兼行 浩史 氏

（山口県立こころの医療センター 院長）

14:40

14:50 「各依存症に起因する精神症状の対応や  
早期発見・早期支援の対応について」

①アルコール健康障害

講師：内科医師（調整中）

②薬物依存症

講師：藤田 実 氏（山口県立こころの医療センター 副院長）

③ギャンブル等依存症

講師：佐々木 順 氏（高嶺病院 副院長）

16:30 閉会

定員：150名（先着順）

参加費：無料

申し込み方法

下記QRコード、または、高嶺病院・山口県立こころの医療センターのホームページよりアクセスしていただき、Googleフォームにてお申し込みください。



松本 俊彦 氏 プロフィール

1993年佐賀医科大学卒業。

横浜市立大学医学部附属病院

精神科医局長等を経て、2004年に

国立精神・神経センター（現、国立

精神・神経医療研究センター）精神保健研究所

司法精神医学研究部専門医療・社会復帰研究室長

に就任。

以後、同研究所 自殺予防総合対策センター自殺実

態分析室長、同 副センター長などを歴任し、2015

年より同研究所 薬物依存研究部 部長に就任。

さらに2017年より国立精神・神経医療研究センタ

ー病院 薬物依存症センターセンター長を併任。

マスメディアの出演や「『助けて』が言えない」

「アディクション・スタディーズ」など著書多数。

